

TEJフォーラム2017

UNWTOと共催で「観光大臣会合」 サステイナブルツーリズムをテーマに

「ツーリズムEXPOジャパン（TEJ）2017」では、会期中の9月21日から23日までの3日間にわたり、東京・有明の東京ビッグサイト会議棟と東展示棟で、「輝き続ける日本、そして世界」インバウンド4000万人時代の交流大国を目指して「」をテーマに掲げる「TEJフォーラム2017」が開催されます。

21日に会議棟7階の国際会議場で開会式とジャパン・ツーリズムアワード表彰式に続いて開かれる「グローバル観光フォーラム」は、「サステイナブルツーリズム」をテーマに「サステイナブルツーリズム」をテーマに「TEJ観光大臣会合」として実施され、第1部の基調講演では、メキシコとマレーシアの観光文化大臣が登壇する予定です。TEJと国連世界観光機関（UNWTO）との共催となる第2部の観光大臣会合には、各国の観光大臣や観光局長、UNWTO・世界旅行ツーリズム協議会（WTTC）・太平洋アジア観光協会（PATA）など国際観光機関の代表らも加わり、国連が制定する2017年

の「持続可能な観光国際年」をテーマに議論が交わされることとなります。

UNWTOによると、国際観光旅行者数は年率4～5%で成長し、2030年には18億人に達する見通しで、ツーリズムは日本経済だけでなく世界経済にとつても重要な成長戦略セクターとして期待されています。同時に、持続的で調和のとれた国際ツーリズムの成長には、国境を越えた連携や相互理解が深まることも求められており、基調講演と観光大臣会合では、グローバルな視点から今後を展望していきます。

〈アジア・リーダーズ〉 持続可能なビジネス を追求

「サステイナブル・ツーリズム」をテーマにした「アジア・リーダーズ」が世界をリードする「」を3カ年テーマに開催されてきているアジア・ツーリズム・リーダーズフォーラムでは、「サステイナブルなツーリズムビジネス」を今年のテーマに設定。英国サリー大学文学部・人文

学部の学部長でWTTCによる「明日へのツーリズム賞」での審査委員長なども務めるグラム・ミラー教授が「サステイナブル・ツーリズムの世界動的な動向（仮）」をテーマに基調講演を行います。

さらに、「持続可能な地域／コミュニティへの貢献」「持続可能な地球環境への貢献」「持続可能なビジネスへの貢献」「持続可能な雇用創出への貢献」をテーマに4つのセッションでパネリスト・ディスカッションが実施されます。パネリストトとしては、新潟県三条市の國定勇人市長、ジェットウイングホテル（スリランカ）のヒラシカレー会長、アンダマン・ディスカバリーズ（タイ）の創設者であるブー・ディガレット氏などが登壇する予定です。



多くの聴講者を集めた昨年のアジア・ツーリズム・リーダーズ・フォーラム

普段は閉ざされた工場を年に1回、1週間にわたって開放する「燕三条 工場の祭典」により、消費者に職人の手仕事や生産現場を体感してもらおうことでモノの価値や産地の魅力に気付く機会を提供している三条市。國定市長は、生産者と観光が連携することで新規顧客や販売チャネルの開拓、販売促進につながり、雇用創出や後継者の確保をもたらし、地域活性化に貢献している事例を語ります。

総括ディスカッションでモデレーターを務めるJTB総合研究所の高松正人取締役は、「これまで日本では『サステイナブル』や『持続可能』が、主に環境に配慮した観光という意味で理解される傾向がありました」と指摘。「フォーラムを通じ、現在、世界では『サステイナブル』であることが、地域活性化や観光事業の成長の必須条件と位置づけられていることを認識していただければと思います」と話しています。

TEJフォーラムでは、国内観光・訪日旅行・海外旅行のテーマ別シンポジウムやツーリズム・イノベーション・セミナーなども開催されます。

展示商談会への登録を 受け付け

TEJ2017は、これまでのBtoC向け「展示会」イメージからBtoB向け「展示商談会」へと進化し、アウトバウンド・国内商談会のアポイントメント商談を2日間に拡大して商談件数が増加します。

また、出展者のセラーと商品企画・造成担当者のバイヤーの双方に、キーパーソンリストとしてそれぞれのコンタクト情報をデジタルデータで提供し、具体的な販売商品や販売範囲などの情報も商談参加者に開示されます。このキーパーソンリストを活用すれば、自動マッチングでアポイントが取れなかったバイヤーに事前に連絡をとって会期中に商談を行ったり、TEJの会期終了後もコンタクトや商談を継続することができます。

商談会に参加するためには、オンラインによる登録が必要となりますので、参加者情報登録（7月21日）、商談リンクエスト（7月28日～8月10日）を行っていただくようお願いいたします。参加登録ページのURLは、次の通りです。
<http://www.t-expo.jp/biz/program/bms-registration.html>